

ブラジル連邦共和国駐劔

特命全権大使 堀村 隆彦



リオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所創立50周年おめでとうございます。リオ・デ・ジャネイロには国家開発経済社会銀行(BNDES)、地理統計院等の重要な政府機関が存在し、またペトロブラス、バーレ・ド・リオドセ社等のブラジルを代表する企業も存在する重要な地であります。特にBNDES、ペトロブラス、リオドセ社は、我が国及び日系企業と深い結びつきがあることを考えるとこれらの企業と密接な関係にある貴地所在の日系企業及び貴商工会議所は日伯経済関係に多大な役割を果たしてこられたと言えましょう。特に日伯経済関係強化に大きく貢献したナショナルプロジェクトについては、ウジミナス製鉄、セニブラ紙パルプ、カラジャス鉄鉱山等そのほとんどが、我が国と貴地に所在するリオドセ社を中心とする伯側パートナーが協力、実現させたものであり、またこれら以外においてもセラード開発については貴地所在のJBICが融資を行うなど貴地所在の日系企業及び貴商工会議所が大きな役割を果たしたことは貴商工会議所50年の歴史の上でも特筆すべきことと思います。

日伯経済関係は、昨年の小泉総理の訪伯に続きルーラ大統領が5月に訪日する等首脳同士の往来が行われ、ルーラ大統領訪日の際には、日伯経済再活性化のための具体的な施策を進めることについて両首脳間で強い意志が表明されました。今後は、具体的施策の一環として貿易及び投資の拡大及びインフラ整備等の経済協力を如何に実現させるかが課題となっています。また、近い将来において日伯若しくはメルコスールの経済連携協定を実現させることについての検討も加速されるべきでありましょう。今後ともこれら懸案の解決のためには官民一体で協力しながら取り組むことも求められていくと思います。

世界的な資源需要に対する高まりや環境対策の重要性から伯の国際的地位は高まりつつあり、我が国としても日伯経済関係活性化のための努力を一層強化していくべきものと思われまふ。特に貴地に所在する資源関連企業との関係強化はそのまま日伯経済関係強化に結びつくと言っても過言ではありません。貴地日系企業及び貴商工会議所の今後の御活躍が期待される所以であり、また私としても出来る限りの支援をさせて頂きたいと考えます。日伯経済関係の再活性化のためにも貴商工会議所の一層の御発展を願いつつ私のお祝いの言葉とさせて頂きます。